



地方自治論 (2020年度前期月曜4コマ)

Home ▶ コミュニティデザイン学科 ▶ 2020自治

編集モードの開始

**この授業は、このままmoodleを使って進めていきます。
C-Learningを使う予定はありません。**



ニュースフォーラム

第1回地方自治論(4月20日)

担当教員(中村)から：初回では、この授業全体のおおよそのスケジュールを把握してください。毎回提示の資料ファイルを丁寧に読み込み、各自で要約・感想・意見をその日のうちに記載しておくことが肝心です。先を急ぐのではなく、毎回毎回の授業範囲を大切に確実にやっていきましょう。

<出席について>

この授業では、少なくとも5月25日の第5回授業まで、受講生にはその日（授業当日）のうちにアクセスし、やるべきことを自分のファイルに作成するというスタイルを取ります。その意味で出席は大前提ですが、受講生の自覚に任せ、そのチェックは5月末までは教員からは行いません。その後変更があればMoodle上で連絡します。

<対面型授業について>

大学HPにありますように、オンライン授業について、事態が好転した場合（対面型授業が可能になった場合）には授業当日3週間前にはその旨掲載するとなっております。状況は厳しいという思いもしますが、現段階では6月1日には対面型授業（教室に集まったの授業）を実施する予定です。その3週間前は5月11日（月）ですので、この時点で判断せざるを得ません。対面型授業ができなくなった場合には5月11日あるいはその翌日にこの授業のMoodle上で知らせるつもりです。



200420地方自治01地方自治論の受講生へ



200420地方自治01地方自治論課題ワード用紙見本



200420地方自治01地方自治論課題ワード用紙



200420地方自治01新聞切り抜き01若い世代の活躍

第2回地方自治論(4月27日)

担当教員(中村)から：今回の授業資料は2020年度予算、既にこの時点での補正予算への言及(近日中に補正予算25兆7000億円が成立)、自動車業界やエンターテインメント産業の苦境が対象です。いずれも僅か1カ月前の記事ですが、たった1カ月後の現在の事態に目が眩む思いがします。1カ月前にはまだ、一律10万円支給や「アベノマスク」などは出てきていませんね。日々変動する世界的な重要課題。1カ月前と現在でどう変わってきているのかといった意識を持って読み進めてください。要約・感想・意見の対象は1本の記事でも複数の記事でも構いません。

ただし、その都度(できれば本日中にあるいは遅くとも近日中)文章を作成しておくことが大切です。文章作成はそんなに簡単な作業ではありませんが、ぜひオリジナルな視点の入った文章を作成してくださるよう。また、たとえば資料提示はありませんが、補正予算一つを取っても、本予算と比べてもいかに緊急の財政出動であるかが分かると思います。一つ一つの記事をじっくり読んで学んでいきましょう。



200427地方自治02新聞切り抜き01当初予算

第3回地方自治論(5月11日)

担当教員(中村)から：本日はまずお知らせがあります。事態が好転した場合は対面型授業を行う3週間前に通知するという宇大の新型コロナウイルス対応方針(ここでは「宇大3週間前ルール」と名付けます)があります。残念ながら、本日の時点で、この宇大3週間前ルールに従いますと、3週間後の6月1日の対面型授業はないことがはっきりしました。そこで、6月8日締切の提出課題の提出方法につきましては、6月1日にこのMoodle上で説明することとします(難しくありませんので大丈夫です)。毎回の授業で5-10行の要約・感想・意見を作成していれば、それをほぼそのまま提出する形となりますので、心配はいりません。

さて、連休明けの本日からコンスタントに週1回のペースで授業が続きます(コロナ禍・遠隔授業のカリキュラムあるいは都合の付く時間帯となったためでしょうか。専門科目なのに地デジ、国際、農学の確定受講者数は70名とこれまでの経験では最多。励みと受け止めます)。毎回の授業の素材に正面から向き合えば、力は確実に付いていきます。受講生同士会うことは当面できませんが、この70名の受講生仲間と1回1回しっかり丁寧にやっていきましょう。

3月30日の新聞記事に限定した上での選出でも、これだけの分量の記事の数々です。それ以降1カ月半後の新型コロナウイルスの急激な感染拡大と私たちの生活への直撃に目が眩む思いがします。しかし、情報は力です。ここは落ち着いて、現在の状況を念頭に置きつつ、すべての記事にじっくり目を通して自分たちや地域社会、さらにはこの国の立ち位置について考えてください。課題については、たとえば対象とする記事は1本でも複数でも構いません。各自がやりやすい形で進めてください。



200511地方自治03新聞切り抜き01新型コロナウイルスその1



200511地方自治03新聞切り抜き02新型コロナウイルスその2

第4回地方自治論(5月18日)

担当教員(中村)から：緊急事態宣言の解除の流れの中で、もしかしたらと先程大学HPを見ましたが、残念ながら現時点で少なくとも6月8日(月)までは遠隔授業となります(前回記載した宇大3週間前ルールによる)。でも、みなさんは回を重ねてこの授業のペースを掴んだはずですよ。先を急ぐことをせず、この調子で続けていきましょう。

課題用紙の中身変更のお知らせがあります。課題用紙に**第6回地方自治論授業(6月1日)の追加**をお願いします。第6回まで終わった時点でページ数は全部(第1回から第6回までの授業分)で2ページとなると思われます。この授業では、毎回資料に向き合っていて、文章をその都度作成しておくことが非常に大切です。今回、次回、次々回を着実にやっていきましょう。そうすればそれがそのまま6月8日締切の提出ファイルとなります。提出の仕方につきましては次回(5月25日)説明します。

今回の授業資料は、いずれも昨年のものですが、新型コロナウイルスの感染拡大を経験して、その内容はより先鋭化されたというか、より重要な論点を私たちに突きつけているのではないのでしょうか。人と人の直接的な接触のあり方はこれからも問い続けなければならないものの、近隣、地域社会、国家、世界について考えさせられるものばかりです(ただし、最後の「折々のことば」はみなさんというより私向けのものですね)。



200518地方自治04新聞切り抜き国家-市場-地域社会

第5回地方自治論(5月25日)

担当教員(中村)から：今日の授業に入る前に、6月8日(月)締切のレポート提出についてのお知らせがあります。レポートの受取場所はトピック欄の「第7回地方自治論(6月8日)」(現在表示は「トピック7」)の欄です。この中の「200525掲載レポート提出(6月8日)について」を見るようにしてください。これまでみなさんは1回1回着実な記事を積み重ねています(と信じています)ので、今回と次回もこの調子でやっていけば、自動的にレポートは完成し、後は提出の際の形式面のみとなります。ただぜひいったん完成したと思っても、提出前には見直し(校正)をしましょう。

さて本日の廃プラスチック問題は実に身近な問題です。たとえば、チョコレートの包装紙など、プラスチックに分類される範囲はとても広いです。卑近な例ですが、私の研究室から1日当たり出るプラスチックごみ(たとえばコーヒー1杯分に入れるカップ入りミルクなど)が途切れることはありません。生分解性プラの可能性はどのくらいあるのでしょうか。コロナ禍後にレジ袋有料化やマイバッグはどうなるのでしょうか。



200525地方自治05新聞切り抜き01廃プラスチック問題

第6回地方自治論(6月1日)

担当教員(中村)から：6月に入りました。宇大キャンパスでは職員の方も隔日出勤から毎日出勤に変わるなど、少しずつではありますが再開に向けた動きが出てきました。授業も折り返し地点となります。毎回の掲載資料を丁寧に読み込み、自分の頭で考え抜く機会を持ってほしい、というこの授業のスタイルを継続していきましょう。

さあ、本日の授業資料に入りましょう。最後の「働き方」も含めて、グローバリゼーションがもたらした光と影について考えましょう。それは、コロナ禍後の私たちの価値観や生き方にも大きな影響を及ぼします。これから、国家という単位は徐々に

脆弱なっていくのか、それとも益々強固になっていくのか。地域コミュニティやそこでの人々のつながりは大きく変化するのか、などいろいろな論点が提示された資料となっています。

さて、来週はいよいよレポートの提出です。なお、以下は念のための確認です。

「第1回授業から(本日の)第6回授業までの資料についての要約、感想・意見を5行以上10行以下で記載」という意味は、各回の分量からいえば、要約、感想・意見を合わせて全部で1本(5行以上10行以下)書くという意味です。また、各回の資料について、レポートで書く対象とするのは一つの資料でもいいですし、複数の資料でも構いません。ですから、毎回の授業についてしっかり文章を1本(5-10行)書いて、それが授業6回分ですから6本揃える(レポートは全部で2ページ程度となる)こととなります。



200601地方自治06新聞切り抜き01グローバル世界再考

トピック 7(地方自治論レポート受付場所)

担当教員(中村)から: レポートを提出した受講生のみなさん。もうひと頑張りして、ベネズエラ、ミャンマー、ガイアナ、ブルキナファソ、米国メイン州ポートランドを取り扱った記事に目を通してください。今回の授業資料につきましては、各記事の内容把握と自分なりの考察をお願いします。授業では、**課題ワード用紙への記載はしない**、という取り扱いとします。



200525掲載レポート提出(6月8日)について



200608地方自治07新聞切り抜き01ガイアナやブルキナファソなど

第8回地方自治論(6月15日)

担当教員(中村)から: 湿気の多い梅雨に入りました。でも、みなさんは、先週の課題レポートをしっかりと提出しました。その意味ではすっかりした新たな気持ちで後半の授業のスタートを切りましょう。

今日はまず、今後の授業スケジュールについて把握しましょう。この欄に添付したファイル「200615地方自治論授業後半について」を開いて、さっとではなく、じっくりと目を通してください。授業の基本方針は変わらないものの、前半の授業からの変更もあります。これからの見通しをつかんだ上で、本日の授業に入りましょう。

本日は、2カ月前の新聞各紙がどのように新型コロナを報じていたかを把握すると同時に、現状において各新聞資料で述べられていることがどのように変化したのか、あるいは課題を引きずったままになっているのかなどについて考えましょう。相当な量ですが、みなさんなら一つ一つを読み飛ばすのではなく、熟読してほしいです。もとい、熟読すると確信しています。



200615地方自治論授業後半について

-  200615地方自治後半課題用紙
-  200615地方自治08新聞切り抜き新型コロナウイルス01
-  200615地方自治08新聞切り抜き新型コロナウイルス02
-  200615地方自治08新聞切り抜き新型コロナウイルス03

第9回地方自治論(6月22日)

担当教員(中村)から:夏の暑さの到来を覚悟していたこの頃ですが、栃木県内では昨日、今日と梅雨空ながら気温がぐっと下がって、半袖だと朝晩は寒いくらいです。人気(ひとけ)のほとんどない陽東キャンパスでは、小雨と弱い風によって新緑の樹木の葉が発する微かな音と冷気が、研究室の窓から入ってきます。みなさんのところはいかがでしょう。

さて、本日の資料は、担当教員がこれまで関わってきた地域との連携活動をいくつか紹介します。残念ながらコロナ禍のため、今年度の活動は現段階ではストップしています。しかし、たとえばLRTの開通も睨んで、陽東キャンパス11号館(2階の地域デザインスタジオなど)を将来的には「地域における”知”のプラットフォーム形成」の拠点としたいなど、構想の実現をあきらめてはいません。

グラフィカルなデザインの部分が強調されていますので、下野市自治基本条例紙以外は、一字一句熟読とはいかないかもしれませんが、いずれの資料においても、協働や地域連携の実践版としてのヒントが散りばめられています(なお、市貝町自治基本条例を取り扱った2016年と2017年の地域連携プロジェクトについては、画質の関係で字が読みにくくなってしまいました。全体のイメージをつかんでくだされば結構です)。

-  200622地方自治09自治体資料01日光市協働のまちづくり
-  200622地方自治09自治体資料02下野市自治基本条例情報紙第10号
-  200622地方自治09自治体資料03下野市自治基本条例情報紙第11号
-  200622地方自治09自治体資料04市貝町自治基本条例2016年度地域連携プロジェクト
-  200622地方自治09自治体資料05市貝町自治基本条例2017年度地域連携プロジェクト
-  200622地方自治09自治体資料06市貝町自治基本条例2018年度地域連携プロジェクト
-  200622地方自治09自治体資料07市貝町自治基本条例2019年度地域連携プロジェクト

第10回地方自治論(6月29日)

担当教員(中村)から:みなさん、6月最後の地方自治論です。これまでどおり、本

日の授業に積極的に向き合って、6月を良い形で締めくくりたいですね。

本日も教員執筆の資料が中心です。たとえば、拙稿資料02は自分なりに栃木県内を意識しつつ、平成という時代を振り返ったものです。コロナ禍後の地域の機能変化に目を凝らしていきたいですし、大学人としての新しい関わり方を探っていききたいです。

(なお、以下の内容は、他の授業でも提示しています。)「コロナ疲れ」といわれるように、確かにもううんざりといった気持ちも否定できません。しかし、現実に向き合わざるを得ない、しかも世界全体がそうであるならば、なおさらあきらめずにどんな小さなことでもいいから、ポジティブな何かを生み出していききたいですね。

たとえば、私の場合、ニュージーランドのアーダーン首相がいう「強く、そして優しく」に勝手に一言加えて、「強く、優しく、そしてしなやかに」と呟いています。これだけでも少し前向きになれる力を与えてくれます。

本日は、参考資料を一つ加えました。もちろん授業は学生の本分です。しかし、その合間にこそ学びがあるという見方に、まさにそうだったのだと気づかされました。そうした時間と空間が奪われたキャンパスの雰囲気はもの悲しいですし、とても悔しいです。でも、必ず今の経験は、合間の学びにつながっていきます。この調子で1回1回を丁寧にやっていきましょう。



200629地方自治10資料01新聞切り抜き01第1期地方創生



200629地方自治10拙稿資料01地方創生



200629地方自治10拙稿資料02平成の時代とは



200629当日追加資料授業の合間

第11回地方自治論(7月6日)

今回のトピック欄はどうしても長くなりました。というのは次回(7月13日)授業についての説明があるからです。最後までよく読んで、内容をみなさんと共有しましょう。まずは本日の授業をしっかりこなしましょう。その後で次回に備えましょう。

担当教員(中村)から: みなさん、7月最初の地方自治論授業です。宇都宮では典型的な梅雨空が続いています。毎日届く私の商売道具!の紙媒体の各新聞についても1年で最も湿った状態で届きます。紙の手触りでも湿気の高さを体感する毎日です。

さて、前期授業も残すところあと1カ月です(といってもオンライン授業のせいか、何か実感が湧いてこないのは私だけでしょうか)。しかし、授業での学びは学生の本分の一つであるという正論を、ここで敢えて確認しておきましょう。

気持ちを切らさず、休息を適切に入れながら、半歩でも一歩でも前へ前へと進みましょう。知は間違いなく生きる力となります。

本日のテーマは公共施設の老朽化問題です。新聞資料以外は私が関わった自治体の会議で得たものを掲載しました。いずれも当たり前のように支障なく存在していると思われるかもしれませんが、各資料からは、維持管理や更新をめぐる山積する課題が浮かび上がってきます。

追加資料200706追加ハイテク点検があります。デジタル技術が公共施設点検や修繕の切り札になり得る可能性に力付けられる一方、財源や人手の不足など深刻化する問題が伝わってきます。

ところで、新型コロナウイルスの勢いが止まりません。世界の感染者が1000万人を超え、死者も50万人を超えました。

世界史におけるこの大災禍を俯瞰し鳥瞰視する視点で、多面的に考察し、思考の力でもって向き合えるのは、最高学府で学ぶみなさんなのです。やせ我慢でも背伸びでもいいじゃないですか。考えることは決して無力ではありません。考えることを放棄しあきらめてはいけません。みなさん、考え続けましょう。思考を続けましょう。

それでは次回授業（7月13日）の説明に入りましょう。

今回のコロナ禍で考えが決定的に変わりました。それは、これまでは私自身の中で研究と教育とは別々のものだという無意識な線引きがあったのですが、それが、「教育の場面で自分の剥き出しの研究の部分をみなさんにぶつける機会を持つ」という強い思いに変わったのです。ファイルUUnow(19年4月)に目を通してください。

その上で、2020年東京五輪の延期に至るプロセスに注目した中村未定稿01を本日（7月6日）から1週間かけて熟読してください。どうか「小難しい理屈をこねくり回している」と受け止めないでください。事象に対して本気で迫るなら、社会科学においても専門用語の行使は避けて通れないからです。なお、「200713地方自治12新聞切り抜き東京五輪延期その1」につきましても、未定稿の内容に生かされていますので、参考程度で結構です。

そして、次回（7月13日）授業の課題である、

「2020年東京五輪1年延期の決め方はこれでよかったのか。どのように決めるべきであったのか」

という問いに対する答えを考えてほしいのです。その問いに対する自分なりの回答（私の考えと違って全く構いません）を、5行（ワードでいえば1行40字×5＝200字）程度で書いてください。あくまでも上記未定稿を読み込んだ上で記載してください。課題提出の場所は「トピック12」（授業当日は「第12回地方自治論(7月13日)」）となります。

具体的には次回（7月13日）の授業時間内の展開は以下のように進めていきます（時間はあくまでも目安）。

・次回授業開始前までに、上記問いへの自分なりの回答文（200字程度）一つをワードに作成しておく。

<7月13日当日の地方自治論の進め方>

・14:20-14:30 授業開始後、教員からの合図(当日のトピック欄に記載します)を待って、文章校正(見直し)の時間を10分程度取ります。そして、ファイル提出ではなく、Moodleに直接入力(実際にはコピー・ペースト)して提出してください。その際に注意があります。後で教員が集約する作業効率のため、あらかじめ作成する文章の最初に「・」を付けてください。

・14:30-14:45 休憩時間となります。提出後は10数分間(予定では15分間)の休憩とします。一息入れてください。その間に教員はみなさんからもらった回答文を匿名扱いで集約します。この作業が終わり次第、PDFファイルで7月13日のトピック欄に「東京五輪受講生意見集約」として掲載します。私からの新しいメッセージ見るには更新ボタン(パソコン画面上部の右回りの矢印の形をしたところ)をクリックしてください。

・14:45-15:15 この30分間の間にみなさんは他の受講生からの回答文を熟読します。ここも大切な時間です。分量はA4版用紙でいえば8-9ページ程度になるはずで。その上で、自分の考えについて再度1-2行程度の文章を作成して、やはり最初に「・」を付けてMoodleに直接入力して提出してください。考えが変わっても変わらなくてもいいです。ただ、なぜそのように考えるのか、他の受講生の回答文をすべて読んで上で文章を作成し、15:15までに提出してください。

・15:15-15:25 2回目の休憩時間となります。その間、教員は再度集約作業を行い、15時35分までにみなさんにそれをお返しすることを目指します。15時50分の終了までは授業から離れないようお願いいたします。

以上のような進行となります。とにかくやってみましょう！

-  200706地方自治11自治体資料01日光市公共施設マネジメント計画(概要版)
-  200706地方自治11自治体資料02那須烏山市公共施設等総合管理計画(概要版)
-  200706地方自治11自治体資料03栃木県日光宇都宮道路管理有識者会議
-  200706地方自治11新聞切り抜き01公共施設・インフラ施設老朽化問題
-  200706追加ハイテク点検
-  UUnow(19年4月)
-  中村未定稿01

第12回地方自治論(7月13日)東京五輪をめぐる活 字ライブ授業第1弾

- ・ 授業開始です。推敲した上で、時間内に提出してください。
- ・ 課題提出を締め切ります。予定通り2時45分まで休憩に入ります。



・集約作業が少し遅れましたが、予定どおり行きます。以下にファイルを掲載しました。他の受講生の文章にじっくり目を通してください。15時15分締切で、第2回目の課題を提出してください。

・第2回目の課題提出を締め切ります。15時35分には集約ファイルを掲載できると思います。その頃に再度アクセスをお願いします。

・第2回目の意見集約ファイルを掲載しました。10分弱で丁寧に目を通してご自分の考えを整理してください。15時50分頃の授業終了時に再度、このトピック欄にアクセスしてください。

・今回、30数名の課題提出者の中で、集約作業に追われ、一文一文じっくり読ませてもらうのは、これからです。しかし、ざっと拝見したところ、大枠の方向性はともかく、そこから少し入り込んだ各々の繊細な考え方の部分は、百花繚乱とまではいなくても、実に多様であることがわかりました。ぱっと見た段階で、すごく鋭い視点をもった文章に思わずはっとした場面もありました。私の論文をよく読み込んだことがわかる文章も多々あるようでした。今後の私の研究にとっても力付けられました。再来週、もう一回あります。その内容については次回授業のトピック欄に掲載します。よろしくお願いします。

・各々の意見集約作業において、漏らしてはいけないと肝に銘じつつ、急ぎながらも慎重に作業を進めたつもりですが、私の方でミスがあったかもしれません。課題提出者を見逃すことはありませんので、その場合ご容赦ください。本日の授業、ここで終了となります。



第2回目地方自治意見集約



第1回目地方自治意見集約



200713地方自治12新聞切り抜き東京五輪延期その1



第1回目 2020年東京五輪1年延期の決め方はこれでよかったのか。どのように決めるべきであったのか



第2回目 2020年東京五輪1年延期の決め方はこれでよかったのか。どのように決めるべきであったのか

第13回地方自治論(7月20日)

担当教員(中村)から: みなさん、梅雨空の日々が続いています。今回の資料は新型コロナウイルスをめぐる4月上旬の新聞記事です。いずれの論考も今の状況と照らし合わせて、いろいろと考えさせられるものばかりです。今回の分も、確実に課題ワード用紙に記載しましょう。

ところで、ここ数日は、Go To キャンペーンの東京除外などが注目されていますが、最近の記事で最も印象に残ったものに、以下のようなものがありました。それは、

石油ショックの際に先進国は団結・協調しなければいけないという危機感からG7が設置された。リーマンショックの際にも同様にG20が作られた。しかし、戦後3番目の、しかも最大の危機と言われる新型コロナをめぐっては、米中間摩擦等からG7やG20に匹敵するものが形成される兆候すらない。これは大変な世界的危機状況である。ただし、EUではドイツとフランスが主導する形での基金設立が動き出しているのが、唯一の救いである。

という指摘です。みなさんはどう考えますか。

なお、次回(7月27日)の課題は、中村未定稿02 を読んだ上で、

「2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきなのか」

です。どうなるのかを予想した記載と、どうすべきかについての記載となります(合わせて10行)。

授業の進め方は7月13日と同様ですので、以下に簡単に記載しておきます。

<7月27日当日の地方自治論の進め方>

- ・14:20-14:30 授業開始後、文章校正(見直し)の時間を取った上で10行の文章を提出。文章の最初に「・」を付けて提出
- ・14:30-14:45 休憩時間。第1回目自治02意見集約を見るには、10:50頃にパソコン画面上部の右回りの矢印の形をした更新ボタンをクリックする。
- ・14:45-15:15 意見集約を読んだ上で、最初に「・」を付けて1-2行の文章を提出。
- ・15:15-15:25 休憩。教員は15時35分頃までに第2回目自治02意見集約を掲載。15時50分の終了までは授業から離れないでください。お知らせがあります。



200720地方自治13新聞切り抜き新型コロナウイルス01



200720地方自治13新聞切り抜き新型コロナウイルス02



中村未定稿02

第14回地方自治論(7月27日)東京五輪をめぐる活 字ライブ授業第2弾

授業開始です。14:30までに第1回目の意見を提出してください。

第1回目の意見提出を締め切りました。14:45までに意見集約ファイルの掲載を目指しますが、遅れる可能性もあります。

第1回目意見集約掲載しました。予定どおりでいきます。12ページあります。じっくり読んで、15:15までに第2回目の意見を提出してください。

第2回目の課題提出を締め切りました。集約作業に入ります。15:30頃に再度アクセスをお願いします。

・第2回目の意見集約ファイルを掲載しました。第1回目の意見集約、読ませてもらいました(第2回目はこれから)。ぜひこの授業時間内に第2回目の意見集約を読み切ってください。現時点でのご自分の「最適解」は何なのか、頭の中で整理してください。私も含めて確固とした見解は持てずにこれからも揺れ動くのだと思います。

・お知らせ: 上記思考の後、ぜひこの授業時間内に、課題レポートの提出について次のトピックの課題欄に入って提出の中身を確認しておきましょう。これまで毎回丁寧に記載を積み上げてきたみなさんなら恐れるに及びません。他の授業での課題提出など前期最後の頑張りどころです。課題を提出したら、電力に依存せざるを得ない、スマホ、タブレット、パソコンなど電子媒体から離れましょう。近隣を歩けば新たな発見が必ずあるはず。自転車で少し遠出してみましょ。それではみなさん、課題レポートの提出、お待ちしております。授業はこれで終了です。



第2回目自治意見集約



第1回目自治意見集約



第1回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきなのか



第2回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきなのか



200727地方自治14新聞切り抜き東京五輪延期その2

8月3日(月)締切レポート提出



地方自治期末レポート提出場所

ナビゲーション



Home

- ダッシュボード
- サイトページ
- 現在のコース

2020自治

参加者
一般

第1回地方自治論(4月20日)

第2回地方自治論(4月27日)

第3回地方自治論(5月11日)

第4回地方自治論(5月18日)

第5回地方自治論(5月25日)
 第6回地方自治論(6月1日)
 トピック 7(地方自治論レポート受付場所)
 第8回地方自治論(6月15日)
 第9回地方自治論(6月22日)
 第10回地方自治論(6月29日)
 第11回地方自治論(7月6日)
 第12回地方自治論(7月13日)東京五輪をめぐる活字ライブ授業第1弾
 第13回地方自治論(7月20日)
 第14回地方自治論(7月27日)東京五輪をめぐる活字ライブ授業第2弾
 8月3日(月)締切レポート提出

マイコース

管理



- コース管理
-  編集モードの開始
-  設定を編集する
- ユーザ
-  フィルタ
- レポート
-  評定
-  バックアップ
-  リストア
-  インポート
-  リセット
- 問題バンク

ルールを切り替える ...

サイト管理

フォーラムを検索する



検索オプション 

最新ニュース



新しいトピックを追加する...

第2回目自治意見集約

07月 27日 15:29 中村 祐司

第1回目自治意見集約

07月 27日 14:46 中村 祐司

中村未定稿02

07月 18日 14:01 中村 祐司

第2回目地方自治意見集約

07月 13日 15:36 中村 祐司

第1回目地方自治意見集約

07月 13日 15:35 中村 祐司

[過去のトピック ...](#)

直近イベント



直近のイベントはありません。

[カレンダーへ移動する...](#)

[新しいイベント...](#)

最近の活動



2020年 08月 08日(土曜日) 15:33 以来の活動

[最近の活動詳細 ...](#)

新しい活動はありません。

[このページのMoodle Docs](#)

あなたは **中村 祐司** としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)